

私の東日本大震災

赤崎 恒春〔1回生〕(昭和45年度卒)



雪混じりの中、家が目の前を流されて行く(15:47)

三月十一日十四時四十六分、私は石巻港から一〇mも離れていない宮城県石巻市魚町の勤務先の事務所で震災に遭遇しました。横揺れが始まり、もう終わるかなと思っていると今まで経験したことがない大きく長い揺れが続く、とつさに机の下に身を隠しました。

事務所の中は、ロッカーなどが入り混じり倒壊しましたが、外に出てみると意外に周りの家はしっかりしていました。地震津波と頭の中を過ったとき携帯で大津波が直ぐ来ることを知り、車で逃げても渋滞に巻き込まれないと思いきや、事務所に留まる決意をしました。(事務所は屋上が五階にあり、町内の避難所になっていた)避難所の受け入れ体勢をとり、近所の人に津波からの避難を呼びかけて逃げ遅れた人・渋滞に巻き込まれた人が次々と避難してききました。(避難者は社員三名、町民十二名)

大津波がきたのは、地震発生から約四十五分後でした。事務所の三階から見ると港の堤防の遙か彼方からどす黒い水の壁が迫ってきた、どろどろした水が逃げ遅れた人や民家や大型トラックなどを一緒に飲み込んで流れていきました。まるで3Dの映画を見ているようだった。(大学一年の時の相浦川が氾濫し水害にあった時より数十倍の規模)

避難者で親や家を流されている光景をみて何とも切ない悲しい思いがして、自然とは非情で無情と改めて痛感しました。

第一波の津波で事務所の二階まで浸かり、周囲は屋根のみが見えすべてが海でした。さらに第二波の引き潮で港の海底が見えたので、大きな津波が来ると思いい屋上まで逃げました。その時、雪が降り始め寒さと恐怖で体の震えが止まりませんでした。

津波が治まり次第第三階に戻り、その夜は停電の暗闇の中で身を寄せあつて段ボールなどを被って眠りにつきますが、寒さで足先がケイ

レンし不安な一夜を過しました。二日目 朝起きても津波が断続的にきて昼までは外に出ることもできませんでした。周辺は住宅が跡形もなく、大型トラック・自動車が流された家や木材と重なり合つて瓦礫の山となり、また電柱がたおれ電線がむき出しになりへどろと混ざり合っていました。道路は至る所陥没して海水がたまりとても危険な状態で、移動するのも困難で避難場所から家に帰れずその場所でもう一夜過す人が大勢いました。救助のヘリが飛んで来ると全員で両手を大きく挙げて、屋根には(SOS十五名)の白文字を書き(インターネット上公開された)救助を待ったが、ヘリは何も支援物資を落としてくれなくて、みんな飛び去ってしまった。(ヘリは人命救助が最優先だった)

石巻市内の殆どが水浸し、支援物資・食料を手に入れることが出来ないと感じ、自分たちの生活は自分たちで守るとみんなで決めて食料探しを始めました。流されてきたペットボトルの水と被災者の冷蔵庫から食料を調達し、やっといかを焼いて食べました。夜はあつたかい雑炊を食べてぼっと一安心しました。三日目 沖で漁をしていた漁船が入港し、あつたかいご飯の差し入れや通信手段を利用させてもらい、いろんな所と連絡が取れました。そして社員全員が無事だったと判り安堵しました。自衛隊の活動で道路も徐々に回復して、応援や支援物資が入って、生活も少しずつ安定してきました。私は五日間事務所で過ごし、車の手配ができてやっと松島の自宅に帰りました。自宅は少し内壁が崩れる程度で済みしました。松島の

Vol. 24

発行 長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会報

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会
佐世保市川下町一二三(大学内)
TEL・FAX 〇九五六一四七五・四六
フリーダイヤル 〇二〇一四七一九〇四四

おおとり

今年度の「就職セミナー」は11月5日(土)・6日(日)

佐世保セミナー前の私は就職活動での選考現場を、具体的にイメージすることができずにいました。漠然とした不安の中で臨んだ佐世保セミナー当日。もともと人と話すことが好きな私は何とかなるだろう!という甘えた気持ちを持っていました。しかし、面接官の前に自分の考えや思いを言葉として上手く表現できず、自身の不甲斐無さに落胆しました。二日目は先輩方から頂いたアドバイスを実行し、変わろうという強い気持ちを持って臨み、先輩方から熱を入れて指導いただき、少し成長できたと思います。佐世保セミナーを通して自分ができること、できないことがわかりました。佐世保セミナーでの経験、先輩方からのアドバイスを活かし、本番の面接では「自分の言葉で自分らしく伝えること」を心がけ、就職活動に精一杯取り組むことができた。お世話になった先輩方に、心から感謝申し上げます。今年も後輩たちの為に、よろしく願いいたします!

体育館を仕切った就職セミナー風景

昨年参加の学生から嬉しい言葉が届きました。



地域政策学科4年 錦戸 恵

私の就職活動は佐世保セミナーによってスタートしました。正直に言いますと、私は就職活動に積極的でありませんでした。そのなかでセミナーでは就職活動の厳しさ、今やるべきことをお話ししていただき、就職活動に対して自身の力の無さと無知さを痛感し、危機感を持ちました。同時に、自分の持つ経験の強みを引き出してくださり、厳しさのなかでも先輩方の温かさを感じました。この佐世保セミナーを通して、私は一度面接を経験できた自信を持って本番に臨むことができ、就職活動を乗り切ることができました。そして、私たちに対して、これほどまでに真剣に向き合い、不安で仕方なかった就職活動に自信を与えてくださる佐世保セミナーに協力してくださる先輩方のいらつしやるこの大学に入学して良かったと心から思いましたし、後輩たちのためにも継続すべき伝統であると思いました。私自身、これからは内定をいただいたことに満足せず、就職してスタートダッシュが切れるように勉学に励み、先輩方の様に自身の経験を後輩に語るように頑張りたいと思います。

セミナー応援者募集

今年は11月5・6日開催、参加学生は200名以上。多数の地元応援者を募集します。

お問い合わせ・お申し込みは各支部長又は鵬友会事務局まで



流通・経営学科4年 弥勒 辰彦

セミナーを通して自分自身を見直すことができた。

佐世保セミナーへの御礼と今後の抱負

鵬友会の同窓会活動を支援してください

鵬友会会員1万3千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活発化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いすると共に、終身会費を納めていただいていない同窓の皆さんには、是非この機会に納入をお願いします。出費多端の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆
12,000円 (会費：1万円・入会金：2千円)
◆寄付金◆
金額は 3千円 5千円 1万円 それ以上は随意

※同封の振込用紙にて振込み下さい。
※申し訳ありませんが、払込手数料はご負担ください。
払込手数料は、郵便局窓口は120円、3万円以上は330円、郵便局ATMは80円、3万円以上は290円となります。

★お問い合わせは事務局まで
TEL：0956-47-5146 (電話窓口：平日午前9時～12時まで)
E-mail：ho-yu-@nifty.com

昨年度寄付のお願いを致しましたところ、多くの会員よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。鵬友会運営のためには皆様のご協力が必要です。引き続きよろしくお願い致します。

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会長 湊谷 明幸

寄付者名簿 (H22.9～H23.7) 順不同・敬称略			
恵島祥一朗	林 英男	岡本満里子	宇田川優也
百目 明治	香川 広憲	瀬戸口 功	宮坂 崇
高森平太郎	岩佐裕次郎	野間 拓史	田中 一成
衛藤 慶三	永田真樹夫	宮田 慎吾	友廣 良満
中島 憲二	時崎 茂	浦 和洋	野濱 弘明
本村 英幸	宮地 学	松田 直樹	山崎 賢一
太郎浦雪乃	樋谷 寛治	高平 淳一	松本 博幸
三津木英夫	大田 雅範	奥浦 研一	神原 雄三
上坂 泰伸	松本 誠美	尼崎 彰	宮地 晃輔
千北 裕吉	野村 剛	角谷 真司	
濱崎 護	斉藤 貴大	内田 匡	
池田 修	村田和久廣	森田 浩二	
吉田 健児	安部 勝巳	今里 佳子	
清田 健児	西村海太郎	西 司	
横原 文男	石田 慶仁	境 松太郎	
野間 健司	林田 俊和	坂本 博	

寄付金合計 267,000円

会長挨拶

鵬友会会長 澁谷 明幸



長崎県立大学同窓会「鵬友会」会員の皆さん、こんにちは。

第五代鵬友会会長の澁谷明幸でございます。鵬友会会報「おひとり」(Vol.24)発行に際しまして、会員の皆様へ一言で挨拶申し上げます。

県立大学も昭和四十二年開学以来四十四年を経過し卒業生も一万三千人を超え、また県立大学同窓会「鵬友会」も昭和五十五年設立以来三十一年を経過しております。本年二月には宮崎支部が新たに設立され、支部数は関東以西十一支部となっています。支部活動も年々活発になってきています。

会長就任以降三地区の支部総会に出席させていただきましたが、支部総会参加者の高齢化・固定化が目につきました。一方で、若手の方に声を掛け、若手参加者を増やし支部活動を活性化しようと努力されている支部もあり、明るい兆しも感じられました。

「鵬友会」の目的はその名の通り、会員相互の親睦を深め、母校の発展につくし、あわせて社会の発展に貢献することにあります。会員の皆様におかれましては昨年発刊しました「同窓会名簿」を入手され、同級生・先輩・後輩に声を掛けていただき、支部活動の活性化にご協力いただきますようお願いいたします。

今後とも私をはじめ役員一同精一杯努めていく所存でございますので、皆様のご支援、ご協力を切にお願いしまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年度役員総会

十一支部が活動を報告

七月十六日(土曜日)、鵬友会役員総会が開催され、全国十一支部より各支部を代表して支部長や事務局長が出席し、各支部の一年間の活動報告が行われ、活動が低迷している支部や、独創的なアイデアで活動を続けている支部、また粘り強く就職セミナーを行って現役学生をサポートしている支部など様々な報告がなされました。

また澁谷会長からは本部の活動が報告され、中でも鵬祭に模擬店(ステーキ井)を出店して積極的に参加し、副会長及び本部理事の面々が二日間張り付いて、利益を上げることが出来たことは銀行出身の会長が掲げる鵬友会の財務体質の健全化に微力ながら貢献できたのではないかとの発表もおこなわれました。

さらに総会後の懇親会では大学側から清浦理事長をはじめ、学長・副学長など七名の出席をいただきましたが、木村副学長以外は初の顔合わせとなったため各支部長・事務局長は名刺交換や自己紹介及び支部の紹介、また各支部との情報交換などで会場狭しと奔走し、懇親会に用意されていた二時間があっという間に終了し、ほぼ全員が二次会に向けて懐かしい山縣町のネオン街へと出かけていったのであります。



役員総会



懇親会

何年たっても仲間は仲間。

故森田前会長最後の事業「鵬友会名簿」好評販売中！

残り部数が僅かになりました。

故森田前会長の最後の事業となつてしまいました「鵬友会名簿」。購入された方からは、10年振りの発刊で、仲間の住所が分かって連絡をしたなど多くの嬉しい声が聞かれます。部数が残り僅かとなりましたので、購入ご希望の同窓生は事務局へお申し込み下さい。

事務局にて
限定販売中
価格：
5,000円
(消費税・送料込)

何年たっても
仲間は仲間。
長崎県立大学同窓会
鵬友会名簿

※購入ご希望の会員は
鵬友会事務局へ直接
お申し込み下さい。
※友好を温める目的
以外の購入を禁じます。

宮崎支部

●支部長 中船木秀敏 (48年度卒)

☎0985・221・26822 (自宅)

宮崎県宮崎市末広一丁目9-1

宮崎支部が誕生しました

去る平成二十三年一月二十九日(土)に鵬友会宮崎支部を設立し、第一回総会を開催いたしました。

当日の宮崎は、鳥インフルエンザ発生や新燃岳噴火に伴う降灰等の影響を受け、会員の皆様が集まされるかどうか大変心配をいたしました。昭和四十六年度から平成二十一年度までの卒業生総勢四十六名の支部会員に集結いただき、九州で七番目に宮崎支部が誕生しました。

大学からは木村副学長・岡崎教授、鵬友会本部から千北副会長・藤本副会長・宮地副会長、福岡支部から米村副支部長、福岡支部から坂井支部長、熊本支部から杉田副支部長、鹿児島支部から濱田事務局長と総勢九名のご来賓をいただきました。ご多忙中にもかかわらず、遠方よりご参加いただきました。誠にありがとうございます。

参加者は殆どが初顔合わせということもあり初めはぎこちない雰囲気も漂っていましたが、時間が進みアルコールが入る毎に打ち融けていき、懐かしい佐世保の話を酒の肴に大いに盛り上がりを見せ、あちこちで歓声や拍手が沸き起こりました。

何年たっても仲間は仲間。の言葉どおり、学生時代の懐かしい思い出話しは尽きることなく、卒業生の和は時間を飛び越え一気に人と人の距離を縮めていったように



1月29日の設立総会

す。

さて、これからの宮崎支部のテーマは「継続」と「拡大」です。宮崎支部の基本方針は、総会等の地区活動を継続開催していくことは勿論ですが、多くの卒業生に交流していただくことを目指します。第一回総会に参加されました方は、次回以降の総会に出席いただきますとともに、一人でも多くの卒業生に参加を働きかけてくださいますようお願いいたします。

第二回宮崎支部総会は、来年二月に開催予定です。宮崎支部の卒業生名簿は、四〇〇名を超えており、これほど多くの卒業生がいるとは正直驚かされた次第です。勿論、宮崎県外に就職している卒業生も多く、連絡が取れない方も多くいらつしやいます。後日、総会案内を発信いたしますので、住所等変更がある方は直近の情報を返信にてお知らせ頂きますと幸いです。

最後になりましたが、支部設立にあたりまして、岡 教授を始め、同窓会事務局の伊東めぐみ様には

熊本支部

●支部長 杉田 恵司 (47年度卒)

☎096・381・4493 (自宅)

熊本市神水本町六・二五

第三回熊本支部総会の報告

六月二十五日、熊本支部の総会が開催されました。

お招きしていた岡崎先生の急な入院による欠席というハプニングはありましたが、和やかに進行し、続く懇親会は来賓や初参加の会員の活躍で大いに盛り上がりしました。そのあと、自然の流れで二次会へ・・・予約の〇〇パブでは、来賓の某支部長代行に大いに喜んでいただき、時間になっても帰らない人もいたぐらいです。

今年度は、岡崎先生も来られるというところで、ゴルフコンペも実施しました。

梅雨の真つただ中ではありましたが、雨が降ることもなく、楽しく、和気あいあいとプレーすることが出来ました。



6月25日の支部総会

鹿児島支部

●支部長 中野 実 (45年度卒)

☎0964・45・5325 (自宅)

鹿児島市枕元2丁目667-3 サンパシビル 301

第二回支部総会を開催



2月5日の支部総会

平成二十三年二月五日(土曜日)、鹿児島を象徴する一つである天文館に程近い場所に位置するホテル、パレイン鹿児島において第二回鵬友会鹿児島支部総会を開催。

去る一月二十九日に発足したばかりの宮崎支部から中船木支部長、砂原副支部長をはじめ、福岡米村支部長代理、佐賀坂井支部長、熊本林支部長の参加をいただき、県内外から総勢三十四名が出席しました。

前回の設立総会の時とは違い、参加者の多くが前回の出席者ということもあり、和やかな雰囲気の中で開催となった。



大学正門

総会も無事終わり、いよいよ懇親会。

中野支部長の挨拶、宮崎支部の中船木支部長の乾杯の音頭で、会場は一気に盛り上がりつついきました。会場に設けられたそれぞれのテーブルでは酒がすすむにつれ、ある席では近況報告、ある席では学生時代へとタイムスリップした会話に花が咲き、ある席では：昭和から平成のかつての若者たちがはそれぞれの思いを昔に馳せながら、話しの尽きない中、二時間という時間は無情にも刻み続けていました。

それぞれが楽しい時間を共有しながら時を忘れて語らう姿は、学生時代に、人生やら何やらに熱く語り明かした時を彷彿とさせるものでした。

今回で二回目でしたが、より多くの参加者を勧誘することの難しさを痛感しました。

今回から、何らかの理由で参加できないとの連絡があった会員に会報を送るようにしました。次の総会に出席する動機づけになればと、役員一同の切なる願いです。鹿児島支部が卒業生の皆さんのコミュニティスペースとして市民権を得るよう、皆さんの力と思いで育てて戴ければと、願っています。

ぜひ多くの会員が出席されるよう祈って、来年三月十日に開催予定の第三瀬支部総会の準備を進めています。宜しく願います。

事務局
濱田 一穂 (S49年度卒)



福岡支部

●支部長 安田 秀夫 (47年度卒)

☎092・5269・5558
(自宅)
福岡市中央区平尾2-12-15・701

一年を振り返って

昨年から今年にかけて様々な事がありました。同期の森田茂前会長の突然の訃報が無い込み大変ショックを受けたことは今でも脳裏に焼き付いています。

その頃より、私事ですが、体調不良で入退院を繰返し、その後の各支部総会への参加も、米村・安部両副支部長に代わって頂き、多に飲んで、他支部との交流を図つてまいりました。

昨秋の「就職セミナー」には私を含め計四人が応援参加できて、ホッとしております。その後、九州南部の火山噴火や今年三月の東北地方大震災など心が痛む事が続きました。

四月十六日には恒例の支部総会、懇親会(於平和楼)を行い、大学、本部、各支部より多数のご参加を頂き、和気あい々と多に盛り上がり、楽しい時を過ぎて頂きました。

福岡支部には在福卒業生が約一千人おられ活躍されておりますが、例年支部総会への集まりが非常に少ないのが現状でどうすれば多くの会員に参加してもらえるか役員一同苦慮中であります。

そうした中、私の体調不良・入院もあり、七月の支部役員会において当面の指揮を米村裕昭副支部長に支部長代行としてお願いし、了承をいただきました。今後は、米村支部長代行のもと支部総会開催を隔年に行うことを決定し、又、近隣の他支部ともタ



4月16日の支部総会

イアッして合同総会等も検討しております。

さらに、我が支部役員の平成卒業生「荒木氏/H8卒、宮田氏/H9卒」が首頭をとって、若手のOB・OGの発掘に邁進しており、徐々によすが、具体的なミニ集会等も催されており、今後の福岡支部の会員拡大に多に期待がもてます！

在福のOB・OGの皆さん、是非とも一声かけて下さい！

待っています

(福岡支部お問合わせメール)
medical-engineer-miyata@auone.jp
宮田までどうぞ

中国支部

●支部長 栗根 秀則 (56年度卒)

☎082・278・2935
(自宅)
広島市西区口5-2-56・701

皆様方の絶大なるご支援のお願い

平成二十三年一月に瀬谷会長をお迎えした第八回中国支部総会にお

六月 支部総会

七月 学生のキャリア形成支援を
者四名 話し合う会 出席

八月 臨時支部総会

八月 出席者四名
学生とOBとの懇談会

八月 出席者五名
岡 先生を囲む会

九月 出席者九名
佐世保就職セミナーへの遣者激励&学生のキャリア形成支援を話し合う

十月 出席者八名
新そば打ちの会

十一月 出席者五名
就職活動支援の為に学生とOBとの懇談会

十二月 出席者四名
就職活動支援の為に学生とOBとの懇談会

二月 出席者六名
就職活動支援の為に学生とOBとの懇談会

三月 出席者五名
就職活動支援の為に学生とOBとの懇談会

三月 出席者六名
就職活動支援の為に学生とOBとの懇談会

三月 出席者四名
就職活動支援の為に学生とOBとの懇談会

支部長改選を行いました

関東支部

●支部長 海老原 敬史 (51年度卒)

☎048・769・6915
(自宅)
埼玉県浦和市榑山2-5-2

昨年八月の臨時支部総会で前任の中島さんから支部長職を引き継ぎました海老原です。

昨年度二十二年度の活動内容を報告いたします。

六月 秦先生を囲む会
出席者七名

ります。

話は前後しますが、昨年十月三十日(土曜日)午後五時から、佐賀市のホテル「グランデはぐくれ」で、鵬友会佐賀支部総会が開催されました。

母校から、木村務副学長様と岡先生、鵬友会本部から千北裕吉副会長様、福岡支部長代理の米村裕昭様、鹿児島支部事務局長の 田一穂様をお迎えし、昨年六月に逝去された森田前会長への黙祷に始まり、会務・会計・監査の各報告のあと、懇親会へと続きました。

二年に一回開催の佐賀支部総会でしたが、今回は支部会員の参加が十三名と伸び悩みました。次回開催時には多くの会員の皆様の御参加を役員一同、熱く期待しております。

追伸 佐賀県の御出身ではなくても、現在、佐賀県内在住の鵬友会会員の方は、是非御連絡ください。大震災で、日本中でその大切さが再認識されている、人々との結びつき「絆(きずな)」を鵬友会佐賀支部も大切にしています。



10月30日の支部総会

長崎支部

●支部長 尼崎 彰 (60年度卒)

☎095・889・6550
(自宅)
長崎市かき道4-40・7

鵬友会長崎支部活動報告

平成二十二年度の長崎支部における活動状況ですが、まずは、七月十七日に「レオプラザホテル佐世保」で開催された鵬友会役員総会、会員総会、懇親会に出席しました。木村副学長をはじめとした大学関係者及び鵬友会本部の方々、多くの会員の皆様との交流を深めることができ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

また、長崎支部では大きなイベントとなつている恒例の総会・新年会を、平成二十三年一月二十二日に長崎市の「セントヒル長崎」で開きました。当日は、大学から池田事務局長に、本部からは藤木副会長にご出席いただき総勢二十四名の皆様と、懐かしい思い出や貴重な情報交換などで楽しいひとときを過ごすことができました。

今回の総会・新年会には、遠くは熊本県(阿蘇郡)から駆けつけていただくなど、たくさんの会員の皆様にお集まりいただき、大変賑やかな会となりました。今後とも、支部の活動がより活性化するように、会員の皆様からもご提案を頂きながら検討していきたいと考えています。

なお、今年度も例年通り年明けの一月に、総会・新年会を開催する予定です。詳しい日程等が決まりましたら同窓会のホームページ等でお知らせしますので、会員の皆様ふるってご参加ください。



1月22日の支部総会

人との絆を大切に

三月十一日に発生した東日本大震災と、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故関連の問題は、半年経過した現在も復興・回復には程遠い状況です。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

原発問題では、佐賀県にも、昭和五十年に営業運転を開始した玄海原子力発電所がありますが、二、三号機の定期点検からの再稼働と、一号機の老朽化が問題となっており、注意深く動向を見守っていく必要があります。

佐賀支部

●支部長 坂井 真洋 (51年度卒)

☎0942・94・2245
(自宅)
佐賀県三養基郡みやき町原古賀1024・7

案内いたします。

○東京佐世保会

「ふるさと佐世保の夕べ」日時：十一月十一日(金曜) 時間未定

場所：新宿・ハイアットリージェンシー東京

佐世保市内の高校卒業生はじめ、佐世保に縁のある方々が集まります。

東海支部

●支部長 中村 一 (48年度卒)

☎0587・59・6073
(自宅)
愛知県江南市高屋町花戸83

新しい体制で現状打破を

東海支部は今年五月二十一日に第五回総会・懇親会を名古屋国際ホテルにて開催致しました。

来賓として本部から瀬谷会長及び関西支部の金子支部長代行にご出席頂き、支部会員参加者十四名とあわせて計十六名での支部総会となりました。

今回の総会で支部長改選を行い、東海支部発足以来四年間支部長としてご尽力頂いた西尾正直様のご苦勞を懇親会にて労いました。また総会にて東日本大震災への義援金募集募金をしたところ全員の賛同を得、集まった一六、〇〇〇円を中日新聞社あて送金致しました。

当支部の現状として、当地域(愛知・岐阜・三重・静岡の四県)には約二五〇名の卒業生が在住の中、毎回参加者が十五名前後と少なく活動らしきものが出来て

転居の際は必ず新住所を事務局へお知らせ下さい

転送サービスで会報を受け取られた場合は、宛先不明では戻ってこないため、住所を変更されたことがわかりません。そのため転送期間終了後は、あらゆる情報をお届けすることが出来ませんので、**転送サービスで届いた方は、事務局に必ずお知らせ下さい。**



5月21日の支部総会

関西支部

●支部長星 憲夫
(47年度卒)
072・265・5750
(自宅)
大阪府高石市代田1-27・7

鵬友会関西支部 「異業種交流会」報告

開催日／二〇二一年一月十四日
十六日
場所／関西支部セミナーハウス
(兵庫県佐用町)
参加者／本部・藤木副会長、宮地
副会長、在学生…古木君、倉知
君、緒方君、関西支部…金子
星、木野元 計八名

昨年に続き本年も兵庫県西部の
佐用町にあるセミナーハウスで関
西支部「異業種交流会」が開催さ
れた。
今年も本部から藤木副会長、宮地
副会長に佐世保からお越しいた
き、また就職活動を開始した学
三生三名も参加し、就職活動に
向けての支援も微力ながら実施し
た。
在学生三名は、事前にエントリ
ーシートを作成し、まずはセミナ
ーハウスのオーブンデッキでエン
トリーシートに記載した自己PR
を大自然の中で大きくはつきり報
告しており、頼もしさを感じたり。
三名ともバスケット(古木君)、
フットサル(倉知君、緒方君)と
体育会系のクラブに属しており、
非常に素直で元氣な印象があり、
また三名のエントリーシートを
もとに、参加者自らの体験で必要
な人材や自己PRについてもっと
強調すべき点、勉強すべき点など
アドバイスした。
関西支部としても必ず良い結果
につながって欲しいとの一念か

ら、支部長より「このエントリ
ーシートはネットを見て書いただ
け。これは君たちの全てを表すも
のであり、もっと真剣に書いて
書いたことは責任を持って説明で
きるようにしなさい」との厳しい
言葉もあつたが、在学生も就職活
動や社会の厳しさを素直に感じて
くれたと思う。
就職活動の指導に留まらず、昼
間は大自然の中の神戸牛バーベ
キュー、夜はボタン鍋、相生産の
生牡蠣と兵庫の食材を楽しむなが
ら世代間の交流をはかることがで
きた。
異業種交流会最終日は朝から一面
銀世界であり、雪景色のなか、全
員で在学生の就職活動の吉報と参
加者全員の今後の活動を期待して
解散となった。
今回、在学生を含めた異業種交
流会であり、在学生の社会へも
立ち向けての一助となることも
に会員の今後の活躍の場を広げて
いくためにも有意義な交流会であ
ったと思う。

平成23年度 関西支部総会のお知らせ

- 日時：平成23年10月22日(土) 11時30分
- 会場：パブレストランアブ
(ホテルグランヴィア大阪19階)
大阪市北区梅田3丁目1番1号 (JR大阪駅すぐ南)
Tel：06-6344-1235(代)
- 会費：3,000円

遠方からの参加者は
終わり次第セミナーハウスにて
翌日まで異業種交流会。

10月5日までに同封の出欠はがきでお申込下さい

※お問合せは／金子 順興(tel・fax078-794-1053)
Email：junkou@msg.biglobe.ne.jp

大分支部

●支部長 安部 賢一
(48年度卒)
0977・21・5450
(自宅)
大分県別府市鶴見2-1

皆さんの参加を
お待ちしております

大分支部では、昨年十月支部総
会で安部賢一氏が新支部長に就
任、新たな体制が発足しました。
大分支部の主な活動をご紹介します。

例年秋頃に支部の総会、そして
一月には現役の学生を対象とした
就職セミナーを開催しています。
既に就職セミナーは十四回を数
え、支部活動の中でも重要な行事
の一つとなっています。毎年講師
を招き、大分県での就職活動情報



異業種交流会にて

○関西支部今後の活動予定
異業種交流会
・一月十四日(土)～十五日(日)
・三月十七日(土)～十八日(日)

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいま
す。そこで今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議しました。つきましては、会員の皆様のメールアドレスを管理
者にお教えてください。
なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心くだ
さい。

メールアドレスの管理者氏名／小室 宏／前関東支部長・アドレス／komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)

●メールによる情報連絡の流れ

本部・支部の情報

同窓会事務局又は各支部

メール

電子メールアドレス管理者

メール

鵬友会会員

平成22年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位：円) 平成23年3月31日

科 目	予算金額	実績金額	備 考
1 会費 (卒業生)	180,000	240,000	@12,000×20名
2 会費 (新入生)	0	72,000	@12,000×6名
3 会費 (次年度新入生)	5,400,000	5,520,000	@12,000×460名
4 名 簿 代	0	18,600	
5 寄付金	0	267,000	
6 預金利息	14,000	6,188	
7 雑収入	0	523,300	
(小計)	5,594,000	6,647,088	
前年度繰越金	4,438,755	4,438,755	
合計	10,032,755	11,085,843	

(支出の部)

科 目	予算金額	実績金額	備 考
1 鵬祭援助金	150,000	150,000	
2 卒業記念品代	250,000	268,800	
3 通信費	1,300,000	2,151,140	
4 人件費	950,000	919,560	
5 支部活動費	900,000	900,000	11支部
6 旅費交通費	250,000	164,820	
7 渉外費	200,000	350,918	
8 事務局費	200,000	213,667	
9 印刷費	1,200,000	1,309,350	
10 鵬友会基金特別積金	0	0	
11 留学生関係費	0	0	
12 会議費	100,000	104,825	
13 総会費	700,000	657,925	
14 雑費	10,000	0	
15 部活援助費	50,000	10,000	
16 就職活動援助費	250,000	250,000	
17 会費返戻	0	12,000	
(小計)	6,510,000	7,463,005	
次年度繰越金	3,522,755	3,622,838	
合計	10,032,755	11,085,843	

(収入の部合計) － (支出の部合計) ＝ (次年度繰越金)

11,085,843－7,463,005＝3,622,838

平成23年5月22日

鵬友会会長 瀧谷 明幸

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。

会計監査 渡辺 薫良・岡 龍彦

平成22年度財産目録

(単位：円) 平成23年3月31日

預金種目	金 額	預 入 先
現金	80,307	
郵便貯金	0	佐世保西郵便局
普通預金	5,111,930	親和銀行本店営業部
普通預金	119,432	親和銀行相浦支店
定期預金	4,311,169	親和銀行本店営業部
(現預金合計)	9,622,838	
出資金	0	
合計	9,622,838	

平成23年度予算

(収入の部) (単位：円) 平成23年7月16日

科 目	予算金額	備 考
1 会費 (卒業生)	180,000	@12,000×15名
2 会費 (新入生)	5,400,000	@12,000×450名
3 名 簿 代	－	
4 寄付金	260,000	
5 預金利息	6,000	
6 雑収入	－	
(小計)	5,846,000	
前年度繰越金	3,622,838	
合計	9,468,838	

(支出の部)

科 目	予算金額	備 考
1 鵬祭援助金	150,000	
2 卒業記念品代	260,000	
3 通信費	1,200,000	
4 人件費	950,000	
5 支部活動費	880,000	11支部
6 旅費交通費	200,000	
7 渉外費	200,000	
8 事務局費	200,000	
9 印刷費	900,000	
10 鵬友会基金特別積金	－	
11 留学生関係費	－	
12 会議費	100,000	
13 総会費	500,000	
14 雑費	10,000	
15 部活援助費	20,000	
16 就職活動援助費	150,000	
(小計)	5,720,000	
次年度繰越金	3,748,838	
合計	9,468,838	

平成22年度貸借対照表

(単位：円) 平成23年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現 金	80,307	鵬友会基金 特別積立金	6,000,000
普通預金	5,231,362		
定期預金	4,311,169	繰越金	3,622,838
計	9,622,838	計	9,622,838

平成22年度鵬友会基金特別積立金

(単位：円) 平成23年3月31日

項 目	入 金	出 金	残 高
期首残高	－	－	6,000,000
当期繰入	－	－	－
期末残高	－	－	6,000,000

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。

鵬友会ホームページをえていますか？

住所変更はホームページでOK！

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が
盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっ
ています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が
一目で……。
もちろん住所変更等にもご利用いただけます。

〔鵬友会ホームページ〕http://homepage1.nifty.com/ho-yu/
〔鵬友会メールアドレス〕ho-yu@nifty.com
〔管理者メールアドレス〕komuro@ho-yu.com (小室 宏／関東支部)

フリーダイヤル

0120・47・9044

事務局への連絡はフリーダイヤルが便利で
す。活用して下さい。

お知らせ

従来のFAX番号は廃止し、電話
番号と一緒にになりました。

0956・47・5146

お
願
い
!!

卒業生の皆さん鵬友会からの
出欠ハガキ等は必ず返信して
下さい。
ちょっとした心掛けが、同窓
会を応援しているのです。